

三条商工会議所景況調査概況

【令和6年7月～9月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和6年9月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 324 商工会議所が 2,482 企業にヒアリング。回答数 1,938 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 221 件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

9月の全産業合計の業況DIは、▲14.1（前月比+1.3ポイント）

製造業は、生産回復が続く自動車関係や需要が堅調な電子機器関係を中心に、改善した。卸売業は、電子機器関係や残暑に伴う夏物商材の堅調な需要に下支えされ、改善した。また、建設業は、引き続き堅調に推移する公共工事が全体をけん引し、改善した。一方、小売業・サービス業は、インバウンド・国内観光需要は堅調なもの、消費者の節約志向の継続が全体を下押しし、ほぼ横ばいで推移した。

原材料や電気代、輸送費の高騰等が続く中、依然として価格転嫁は追いついていない。また、人手不足や賃上げ原資の確保等の課題も山積している。個人消費は実質賃金のプラス転換など明るい兆しが見られるものの、物価高による弱さが残り、中小企業の業況は力強さを欠いている。

先行き見通しDIは、▲13.4（今月比+0.7ポイント）

原材料や輸送費等のコスト増が続く経営環境の中、最低賃金の引き上げや深刻な人手不足、価格転嫁の遅れなど、企業経営の足かせは多い。また、長引く物価高に伴う個人消費の低迷を懸念する声が引き続き聞かれている。

電気・ガス代の補助等に伴うコスト減や、新内閣の下での新たな経済対策への期待感もうかがえるが、先行きは内需の伸び悩みが懸念され、慎重な見方となっている。

全国の9月産業別業況

【建設業】

「公共工事は賃上げ加点があるため、賃上げを行うことで、受注と人材確保の双方の効果が見込まれる。一方、民間工事では、発注者側の時間外労働の上限規制への理解が進んでおらず、休日の現場稼働が恒常的に発生しており、経費削減も難しい状況が続いている」（一般工事業）、「連日の猛暑で休憩時間を確保する必要があり、計画よりも日数がかかり、人件費が増加。健康管理のため仕方ないが、利益率は悪化した」（リフォーム業）

【製造業】

「値上げ交渉の結果、原材料やエネルギー価格の高騰分を吸収できているが、今後も様々なコスト増が予想されるため、価格転嫁は続けていく必要がある。設備投資も計画しており、作業効率を上げることで、生産性の向上も図っていく」（自動車・附属品製造業）、「急激な為替の変動が生じると、原材料調達やコスト増等の課題が発生するため、為替が安定するような施策を期待する」（民生用電気機械器具製造業）

【卸売業】

「一時期よりも円安基調は落ち着いたものの、その当時のしわ寄せが発生しており、仕入先より3割近い値上げの通達があった。値上げ前に在庫を確保していたため、何とか乗り切ったが、今後は販売価格への転嫁をできるか危惧している」（電気機械器具卸売業）、「厳しい暑さが続いたことで、熱中症対策商品の引き合いが増加し、売上は堅調に推移した」（日用品・生活関連商品卸売業）

【小売業】

「インバウンド観光客や富裕層による高付加価値商品の売上で現状維持は出来ているものの、物価上昇で消費者の購買意欲は依然として低い。最低賃金も引き上げられるため、労務費の上昇が見込まれ、厳しい経営環境が続くそうである」（百貨店）、「イベント等では売上が好調な一方、日常生活では消費者の購買意欲の低迷が続いている。9月も残暑が厳しく、来店客数が減少した」（菓子・パン小売業）

【サービス業】

「インバウンドや観光客の増加で業況は改善しているが、競合他社の新規参入により価格や人材確保で競争が発生しており、今後を見据えると厳しい状況である。設備投資や従業員研修でハード・ソフト両面を整備し、顧客に選ばれるよう努めていく」（宿泊業）、「原材料価格、電気代等の高騰が続いており、収益を圧迫している。新たな経済対策や実質賃金の増加による経済の好循環を期待している」（飲食店）

【令和6年7月～9月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、[当所ホームページをご参照ください。](https://www.sanjo-cci.or.jp)）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和5年度第2四半期(R5年7～9月)比(以後、前年同期比という)では▲28(前期差2ポイント増)となった。業種別では、建設業が▲8(前期差27ポイント増)、製造業が▲35(前期差2ポイント減)、卸売業が▲36(前期差1ポイント減)、小売業が▲38(前期差8ポイント減)、サービス業が▲14(前期差2ポイント減)となった。前回調査に比べ、建設業はDI値が回復したが、小売業はDI値が減少、製造業、卸売業、サービス業はDI値がほぼ横ばいで推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲8(前期差27ポイント増)、採算DIは▲4(前期差24ポイント増)、売上額DIは+4(前期差48ポイント増)、従業員DIは▲4(前期差15ポイント増)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも増加で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲35(前期差2ポイント減)、採算DIは▲31(前期差2ポイント増)、売上額DIは▲36(前期差15ポイント減)、従業員DIは+3(前期差12ポイント減)となり、採算DIは増加したが、業況DI、売上額DI、従業員DIは減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲36(前期差1ポイント減)、採算DIは▲33(前期差2ポイント増)、売上額DIは▲23(前期差2ポイント増)、従業員DIは+4(前期差±0ポイント)となり、従業員DIは横ばい。採算DI、売上額DIは増加したが、業況DIは減少で推移した。

【小売業】

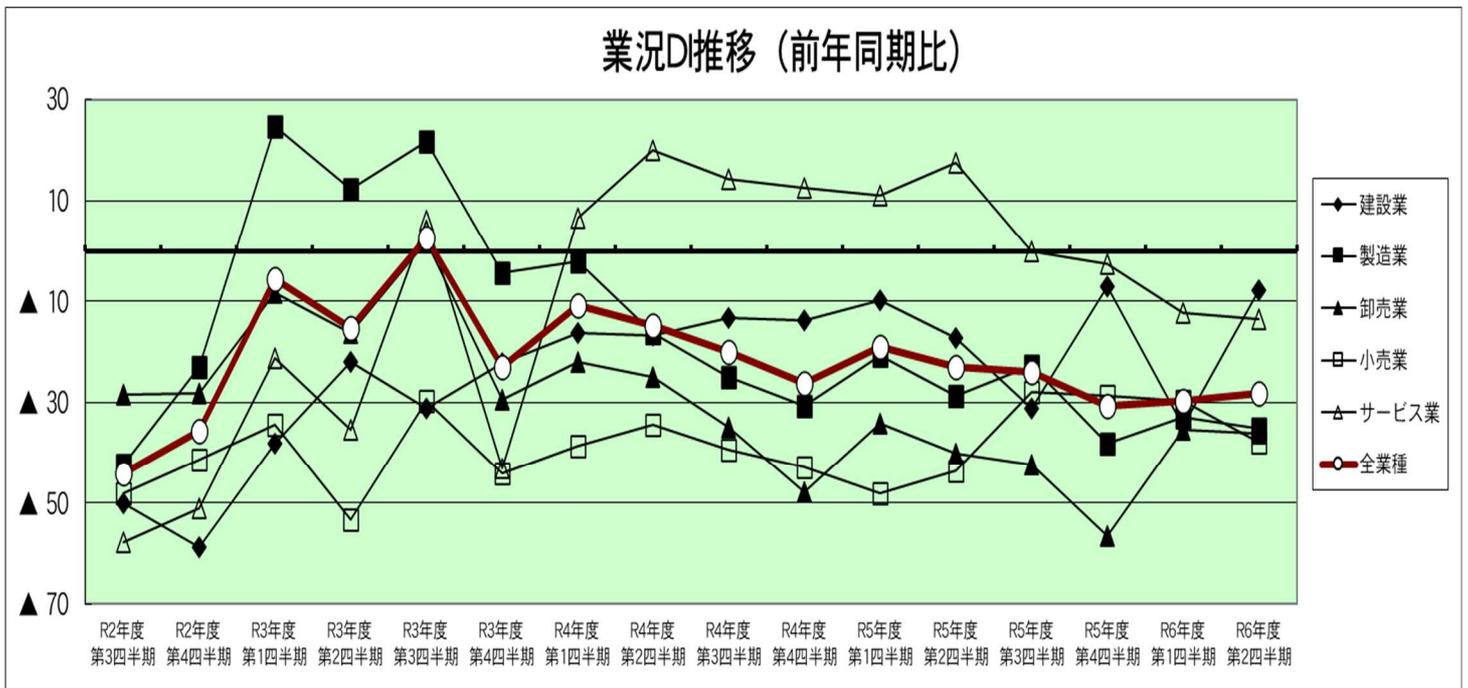
小売業では、前年同期比の業況DIは▲38(前期差8ポイント減)、採算DIは▲50(前期差31ポイント減)、売上額DIは▲28(前期差2ポイント減)、従業員DIは±0(前期差4ポイント増)となり、従業員DIは増加したが、業況DI、採算DI、売上額DIは減少で推移した。

【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは▲14(前期差2ポイント減)、採算DIは▲16(前期差11ポイント増)、売上額DIは▲2(前期差3ポイント増)、従業員DIは±0(前期差29ポイント増)となり、採算DI、売上額DI、従業員DIは増加したが、業況DIは減少で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R2 年度		R3 年度				R4 年度	
	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期
全業種	▲ 44	▲ 36	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23	▲ 11	▲ 15
建設業	▲ 50	▲ 59	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22	▲ 16	▲ 17
製造業	▲ 42	▲ 23	25	12	22	▲ 4	▲ 2	▲ 16
卸売業	▲ 28	▲ 28	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29	▲ 22	▲ 25
小売業	▲ 48	▲ 41	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44	▲ 39	▲ 34
サービス業	▲ 58	▲ 51	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43	7	20
	R4 年度		R5 年度				R6 年度	
	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期
全業種	▲ 20	▲ 26	▲ 19	▲ 23	▲ 24	▲ 31	▲ 30	▲ 28
建設業	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 17	▲ 31	▲ 7	▲ 35	▲ 8
製造業	▲ 25	▲ 31	▲ 21	▲ 29	▲ 23	▲ 38	▲ 33	▲ 35
卸売業	▲ 35	▲ 48	▲ 34	▲ 40	▲ 42	▲ 57	▲ 35	▲ 36
小売業	▲ 39	▲ 43	▲ 48	▲ 43	▲ 28	▲ 29	▲ 30	▲ 38
サービス業	14	13	11	18	0	▲ 3	▲ 12	▲ 14

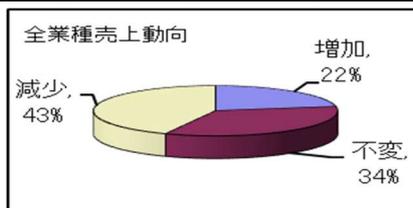


令和6年度 第2四半期(2024年7月～9月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

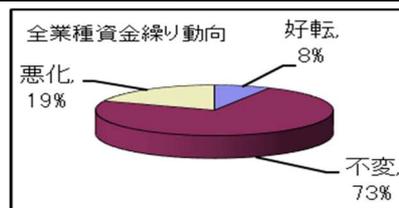
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	50	77	97
	%	22%	34%	43%
建設業	件数	9	9	8
	%	35%	35%	31%
製造業	件数	11	27	39
	%	14%	35%	51%
卸売業	件数	10	17	21
	%	21%	35%	44%
小売業	件数	3	15	11
	%	10%	52%	38%
サービス業	件数	17	9	18
	%	39%	20%	41%



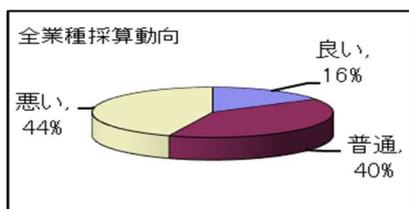
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	17	162	42
	%	8%	73%	19%
建設業	件数	2	20	4
	%	8%	77%	15%
製造業	件数	6	55	14
	%	8%	73%	19%
卸売業	件数	3	37	8
	%	6%	77%	17%
小売業	件数	0	20	9
	%	0%	69%	31%
サービス業	件数	6	30	7
	%	14%	70%	16%



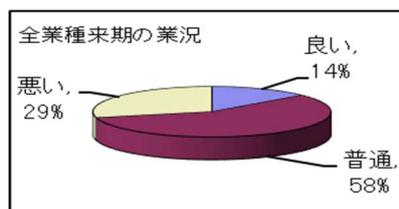
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	36	88	98
	%	16%	40%	44%
建設業	件数	7	10	8
	%	28%	40%	32%
製造業	件数	13	27	37
	%	17%	35%	48%
卸売業	件数	5	22	21
	%	10%	46%	44%
小売業	件数	1	12	15
	%	4%	43%	54%
サービス業	件数	10	17	17
	%	23%	39%	39%



業種別来期(2024.10～12月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	25	106	53
	%	14%	58%	29%
建設業	件数	1	12	8
	%	5%	57%	38%
製造業	件数	14	35	15
	%	22%	55%	23%
卸売業	件数	4	23	13
	%	10%	58%	33%
小売業	件数	0	16	5
	%	0%	76%	24%
サービス業	件数	6	20	12
	%	16%	53%	32%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。

<https://www.sanjo-cci.or.jp>